

第 49 回全国大学かるた連盟総会議事録

日時：平成 21 年 3 月 20 日

場所：江戸川区スポーツセンター2 階管理室

開会

出欠：加盟大学の 3 分の 1 以上の出席、委任状を満たすので成立

議長の選出

千代間（会長・早稲田 3）：議長は千代間が務めたいと思うが賛成の方は挙手を願いたい。

→承認

第一号議案：来年度の大学連盟・関西連盟の人事

千代間：来年度の大学連盟、関西連盟の人事を以下のようにしようと思うが賛成の方は挙手を願いたい。なお新しい役職として HP 担当という役職を追加した。これは HP 担当を中心として大学連盟のホームページを作成するというものである。

大学連盟

会長：平岡弘行（東大 2）

副会長：平林孝太（東大 1）

伊藤理恵（神戸 2）

事務局長：倉塚豊（早稲田 2）

会計：野福幸奈（法政 2）

会計監査：紺田みのり（大阪 2）

HP 担当：松田孟留（東大 1）

関西連盟

会長：北脇由布子（京都 2）

副会長：上奥実奈子（奈良女 2）

本田未佳（立命館 1）

事務局長：伊藤丈直（神戸 1）

会計：太田雅文（大阪市立 1）

会計監査：渡部達也（関西 2）

→承認

第二号議案：関西連盟の予算報告

千代間：関西連盟の方から来年度の予算報告をお願いします。

秋澤（神戸 3）：関西連盟の方から予算の報告を行う。平成 21 年度の関西連盟の予算請求は予算請求資料（別紙）にあるとおりである。なお交流会費がゼロとなっているのは、交流会場として利用料無料の同志社大学の和室を利用しているからである。

→収支・支出の確認。質問なし。

第三号議案：第 15 回全日本大学かるた選手権大会の会計報告

千代間：第 15 回全日本大学かるた選手権大会の会計報告を大榎より報告する。

大榎（会計・東京女子 3）：会計資料（別紙）にあるとおりである。

秋澤：宿泊・コンパ代は大会の会計とは別なのか。また大会の収支が赤字なのは大丈夫なのか。

大榎：宿泊・コンパ代は大会の会計とは別に行っている。また大会の収支であるが、宿泊・コンパ代とあわせて黒字になっているので大丈夫である。

第四号議案：職域に対する大学連盟の意見のまとめ

千代間：職域実行委員会に提出する大学連盟の総意として職域に対する大学連盟の意見をまとめたい。現在のところチーム数も増加し、会場のキャパシティが限界となりつつある。昨年の実行委員会に提出された案（別紙）でどの案が良いと思われるか意見をお願いします。また①、⑤、⑩案が濃厚となっている。

北脇（京都 2）：チーム数を 3 チームに制限することに関して早稲田・東大の意見を聞きたい。

千代間：できることならチーム数を制限してほしくない。

千藤（東大 3）：東大も同じ意見である。

川島（早稲田 2）：チーム数の制限は限界を超えてからなのか。限界まではチーム数を制限しなくてもよいのか。

千代間：すぐに適応されるとしたら各級 1 チームの制限となる。

北脇：その場合同チームが昇級したらどうなる。

千代間：繰り上げとなり、3 位のチームが昇級する。それでは優勝する意味がなくなってしまふ。

秋澤：制限かけるのなら①からになるのでは。

倉塚（早稲田 2）：根本的な解決にならない。5 人そろえば結局チーム数は減らない。

川島：チーム数が限界になったら E 級で新しく出させないのはどうか。

川野（筑波 2）：4 チーム出しているところは各チーム 5 人そろっているのか。かるたの普及ということを考えると新規のチームを加える方がよい。

北脇：4 チーム出しているのは早稲田と東大だけなのだからチーム数を制限してもすぐに新

規で埋まってしまうのではないかと。⑧が割といい案に思える。

倉塚：D 級に制限をかけるのはどうか。⑧案を採用すると残らなかったチームは次から出場してくれないのではないかと。

川島：初心者だけのところだと 2 回に 1 回しか出場できないのは厳しいものがある。

北脇：普及の面と大学側が痛み分けするしかない。

千代間：大学連盟は①・⑦・(⑧)・を大学連盟の意見として職域実行委員会に提出する。

閉会